

定員に達したため、受付を締め切りました。ご好評につき4月に追加開催を企画しております。  
次回開催のご案内を希望される方は、下記アドレスまで、お名前、組織名をご連絡下さい。

Click!  [seminar1@aspect-net.co.jp](mailto:seminar1@aspect-net.co.jp)

# ON・I・ON2公開講演会

共催:(社)国際経済労働研究所 (株)応用社会心理学研究所

◆日程	2009年3月31日(火)	開場 13:00
	第1部 講演	13:30~17:00頃
	第2部 グループディスカッション	17:00~18:30頃
◆会場	大阪府立労働センター エルおおさか 南館102 〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14 地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m	
◆対象	労働組合支部執行委員以上	
◆参加費	1組織 15,000円 (何名でもご参加いただけます)	

## ~ON・I・ON2 参加関与型の組織を目指す運動~

戦後の労働運動の理論枠組みを提供してきた(社)国際経済労働研究所が、20年にわたり発信し続けているON・I・ON2プロジェクトは、現状の組合のあり方に警鐘を鳴らし、組合という組織を“自らがメンバーとして参加し関わっていく”という「参加関与型組織」として再生していくことを目指す運動のための考え方です。その始まりは1990年、**組合員の組合離れ**を解決すべく、複数の組合と研究所とで開催したON・I・ON研究会でした。

「組合の求心力が失われてきている」「組合員が受身のお客様になってしまっている」「組合の理念や意義が失われてきている」…そこで組合の運動理念を再構築し、UI(ユニオン・アイデンティティ)を確立する運動のために、研究所では組合の活動を「**組合への関与**」を軸に再点検し、**関与型の活動を展開**することで、**組合組織を「参加関与型」の組織に変えていく**という考え方を発信したのです。



## ~「組合関与」向上を目指して~

「**組合への関与**」——組合員が本当に何とかしたい問題、叶えたい夢を実現するために、同じ志を持つ人たちが集まって活動を展開していく、組合はそのためのステージである。ON・I・ON2では組合員の組合への受身の意識を、このように変えることを目指しています。そしてそれは、職場内外の問題を人任せにせず、自分たちの会社を自分たちでよくしていこうという組合員を増やしていくことに他なりません。

「**組合への関与**」を高めていくということはどういうことなのか

それは会社組織、風土に対してどのような意味を持つのか

そして関与の高い組合員を育むことは、社会にとってどんな意味があるのか

今回の講演会では、これらについての研究や議論からの成果を通じ、まさに今の時代での労働組合の意義やあり方をお話します。研究所ではこのON・I・ONの考え方に共感し、ともに「**参加関与型組織**」を目指す組織を増やし、組合関与の高い組織を増やしていくことを目指しています。

(社)国際経済労働研究所

研

Tel: 06-6943-9490

〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14 大阪府立労働センター4F  
Fax: 06-6943-9540

(株)応用社会心理学研究所

Aspect

Tel: 06-6941-2171 (事務局 山本)

〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F  
Fax: 06-6941-2081

## 1. 社会心理学についての概論

労働組合を見つめなおすために有効な視点を学ぶ

## 2. 労働組合の現状

組合員の組合離れはなぜおこるのか？

123万人の  
組合員意識調査  
結果をご紹介します！

## 3. 組織改造のための関与と評価

活動につながる調査のコツと調査データの活用方法

## 4. 日本的企業文化と労働組合

会社はカネのかたまりか？ヒトのかたまりか？ヒト重視の企業統治を担う労働組合の役割を理解する

## 5. 組合活性化へのアプローチ

強要ではなく、組合員が自発的に組合に関わりたくなるためのポイントとは？

## 6. 社会の根

労働組合に関与することの意義を、会社の風土、社会の絆への影響という視点で考える。



(社)国際経済労働研究所  
専務理事兼統括研究員  
八木 隆一郎

社会心理学者。動機づけ、人間関係、組合関与など研究分野は多岐にわたる。全国の主要労働組合が参加した国際経済労働研究所第30回共同意識調査ON・I・ON2をまとめ、ON・I・ON研究会などの研究グループを主宰。研究の傍ら、近畿大学（経営心理学）、龍谷大学（心理学）で教鞭をとる。日本社会心理学会では自主シンポジウム『社会心理学における「産・労・学」協同の可能性』を研究会メンバーとともに発表。学会関係者のみならず産業界・労働界からも注目を集めた。著書に「成熟世界のパラダイムシフト」（共著・啓文社・1992）など。

組織名			
連絡先	住所	〒	
	TEL	FAX	
担当者	役職	氏名	ふりがな
			e-mail
参加者	役職	氏名	ふりがな
	役職	氏名	ふりがな
	役職	氏名	ふりがな
	役職	氏名	ふりがな

※ 参加者が5名以上となる場合は、この用紙をコピーしてご使用ください。

計 名

定員に達したため、受付を締め切りました。ご好評につき4月に追加開催を企画しております。次回開催のご案内を希望される方は、下記アドレスまで、お名前、組織名をご連絡下さい。

Click!  [seminar1@aspect-net.co.jp](mailto:seminar1@aspect-net.co.jp)